

授業概要

本講義は、企業会計の理論を学ぶものである。授業では、会計諸規則や会計の諸概念を体系的に説明するとともに、主な会計処理問題を会計制度に織り込みながら解説する。  
特に、本講義では、企業会計の基礎を理解したうえで、貸借対照表及び損益計算書の原理を中心に解説する。

授業計画

|      |                        |
|------|------------------------|
| 第1回  | 企業会計の意義                |
| 第2回  | 企業会計と会計制度              |
| 第3回  | 貸借対照表①（意義と構造）          |
| 第4回  | 貸借対照表②（資産、負債及び純資産の区分）  |
| 第5回  | 貸借対照表③（作成原理）           |
| 第6回  | 損益計算書①（意義と構造）          |
| 第7回  | 損益計算書②（収益費用の区分と認識及び測定） |
| 第8回  | 損益計算書③（作成原理）           |
| 第9回  | 売上高と販売形態               |
| 第10回 | 棚卸資産の会計                |
| 第11回 | 固定資産の会計                |
| 第12回 | 無形固定資産と繰延資産の会計         |
| 第13回 | 負債性引当金の会計              |
| 第14回 | 純資産の会計                 |
| 第15回 | キャッシュフロー計算書            |
| 第16回 | 定期試験                   |

到達目標

企業会計の基礎的理論を理解すること

履修上の注意

複式簿記の原理を理解していることが望ましい。

予習復習

授業の理解度を高めるために、講義内容に合わせて簿記検定の既述問題を解かせる。

評価方法

- ・ 定期試験の成績により評価する。
- ・ 既定の出席回数を満たさない場合には原則として単位を認めない。

テキスト

- ・ 近田典行編著『会計学ベーシック』中央経済社
- ・ 必要に応じて、資料を配布する。